

伊勢崎市委託文化事業

第43回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば

群響

群馬交響楽団
演奏会

オータムコンサート
in SAKAI

名曲揃いのコンサート！

誰でも聴いたことのある曲！

ヴァイオリンのあの名曲も！

ヴァイオリン
大谷康子*
Yasuko Ohtani

©Masashige Ogata

群馬交響楽団
演奏会

指揮者
渡邊一正
Kazumasa Watanabe

©三好英輔

2019.10.19 土

伊勢崎市境総合文化センター 大ホール

18:00開場 18:30開演

予定演奏曲目

- ワーグナー／歌劇『さまよえるオランダ人』序曲
ブルーフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26 *
オッフェンバック／喜歌劇『天国と地獄』序曲
マスネ／タイスの瞑想曲 *
ブラームス／ハンガリー舞曲 第6番
サラサーテ／ツィゴイネルワイゼン 作品20 *
ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番
リスト／ハンガリー狂詩曲 第2番

*曲目は都合により変更する場合があります。

チケット【全席指定】

一般 2,500円、 学生(高校生以下) 1,200円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット発売日

7月18日(木) ……9:00よりときめきくらぶ会員電話予約

(境総合文化センターのみで受付／席の列番の指定はできません)

7月20日(土) ……9:00より窓口発売、13:00から電話予約

プレイガイド

伊勢崎市境総合文化センター／伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ

お問い合わせ

伊勢崎市境総合文化センター TEL 0270-76-2222

<http://www12.wind.ne.jp/sakaibunka/>



Autumn Concert in SAKAI

第43回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば

群馬交響楽団演奏会

オータムコンサート in SAKAI



Conductor

指揮

渡邊一正 *Kazumasa Watanabe*

東京都生まれ。1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルハーモニー交響楽団レジデント・コンダクターに就任。1995～2002年広島交響楽団正指揮者、1996～2015年3月まで東京フィルハーモニー交響楽団指揮者を歴任。1998年にはNHK交響楽団の指揮台に初登場し、それ以後オーチャード定期、NHKホール定期を始めN響とは定期的に共演を重ねている。第69回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽: 東京交響楽団)と第77回同コンクール・ピアノ部門(管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団)の本選会演奏に対しコンクール委員会特別賞を贈られる。日本国内のオーケストラとは読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団を始め主要なオーケストラに定期的な客演を行ない、その音楽性と指揮に対する信任を確実に得ている。

オペラ、バレエでの活躍も目覚しく、新国立劇場でマスカニ歌劇「友人フリツ」を、同劇場バレエ団では「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年の「白鳥の湖」新演出の指揮も任せ大成功を収めた。

また彼の指揮活動は国内だけにとどまらず、海外でもサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、確実にキャリアを積んでいる。

ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団とハイドンのピアノ協奏曲を協演。1987年から1989年には渡欧し、グルムシュタット音楽アカデミー、ハンス・ライグラフ教授のマスター・クラスでピアノを学ぶ。その後東京フィル定期、広島交響楽団定期、大阪フィル、札幌交響楽団などのオーケストラと、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番、第5番「皇帝」、ラヴェル、モーツアルト、ガーシュウィンなどの弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。



Violin

ヴァイオリン

大谷 康子 *Yasuko Ohtani*

2020年にデビュー45周年を迎える、ピエトロ・グアルネリ(1708年製)での深く温かい演奏は「歌うヴァイオリン」と評される。

これまでソロ活動はもとより、モスクワ・フィル、スロヴァキアフィル等、国内外の著名なオーケストラと多数共演。1公演で4曲のヴァイオリンコンチェルトを1日2公演行うという前代未聞の快挙を達成し話題となった。キエフ国立フィルとは2017年以降毎年招聘され、2019年11月ウクライナにて3年連続の共演を予定。また、5月に実力派ピアニスト、イタマール・ゴランと全国ツアー(12都市)を開催し、今夏にCDが発売予定。

著書に「ヴァイオリニスト 今日も走る!」(KADOKAWA)がある。CDも多数リリース。BSテレ東(毎週土曜朝8時より放送)「おんぐく交差点」では春風亭小朝と司会・演奏を務める。

文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。東京藝術大学講師。(公財)練馬区文化振興協会理事長。川崎市市民文化大使。高知県観光特使。(公財)日本交響楽振興財團理事。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasukohtani.com>

Orchestra

群馬交響楽団

Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2018年度までに延べ638万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1982年からは高校音楽教室が開催されるなど、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

1981年からは群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

2003年にはNHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004年には天皇皇后両陛下、デンマーク國女王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催した。2014年6月には定期演奏会が500回に達し、2015年11月には創立70周年を迎えた。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開しており、2019年4月より小林研一郎がミュージック・アドバイザーとして就任し、更なる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

1966年「朝日・明るい社会賞」、1983年文部大臣「地域文化功労者」団体表彰、1989年 第11回山本有三記念「郷土文化賞」、1994年「日本文化デザイン賞」、1995年「第4回日本生活文化大賞特別賞」、2001年 日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞、2017年県民芸術祭40周年記念表彰。